

グローバル・ハイールド債： 逆風下でも新規発行は好調



クラウディオ・ダ・ガマ・ローズ

クライアント担当ポートフォリオ・
マネジャー

2023年5月23日

グローバル・ハイールド債市場における最近の逆風と追い風、そしてそれが何を意味するかについて見ていきます。

市場参加者は最近のボラティリティを最も懸念しているようですが、企業の好調な業績発表により、この懸念はこれまでのところ落ち着いていると見ています。

好調な業績発表

今年の第1決算期において、米国と欧州の大手銀行を含む多くの企業が依然として、堅調な収益性を示しています。最近の銀行の決算発表では、銀行が最近のボラティリティをいかに乗り切ってきたかということ、投資家は確認できました。今のところ、銀行の業績は好調です。預金が減少したとはいえ、パンデミック以降の流入額と比較するとその減少の影響は微々たるものです。このように安心できるニュースがあるにも関わらず、市場関係者は常に懸念材料を見つけてしまうものです。

米国からの逆風

米国の債務上限に関する議論が市場の中心的な話題となっています。米国での税収が予想を下回っていることから、7月上旬頃に債務上限に達し、危機的な時期を迎えることを想定しています。最終的には、アクティブな債券投資家にとって、ボラティリティが急上昇するという可能性は投資機会の創出をもたらしますが、このドラマのピークまでまだ数週間あるため、注意しなければなりません。

市場の変化に伴い、商業用不動産は一部で懸念されているものの、商業用不動産のローン引受は慎重に行われており、全般的なローン残高のごく一部を占めるに過ぎません。さらに、銀行は全体的に引当金繰入額を増やしましたが、これは主に、景気後退に入る確率が高いというムードによる評価に対処するための措置でした。正味の償却額は数年間にわたり低い水準にとどまり、実際の損失額は徐々に増加しているに過ぎません。

ハイールド債の依然として強いテクニカル面

テクニカル面に話を移すと、ハイールド債に関しては引き続き、強い状況が続いています。ハイールド債市場での新規発行は閉ざされているという誤解がありますが、実際はそうではありません。米国ハイールド債は昨年の月平均が89億米ドルに対し、4月は24銘柄の計188億米ドルの発行がありました。欧州ハイールド債の新規発行額は年初来で320億ユーロとなり、最近の新規発行はセクターや格付けのカテゴリーを見ても多様化しています。資金流入は過去5カ月で初めてプラスとなり、2020年8月以降でも最も多い流入額となっています。

グローバル・ハイールド債

まとめると、ハイールド債の今年のこれまでのプラスのリターン背景は、高利回りの資産クラスへの投資のメリットを実証しています。中期的に魅力的なバリュエーションを引き続き提供していると考えており、高い利回りは、予見されるリスクと予見されないリスクを投資家に補償するための良い緩衝材になると考えています。質の高いファンダメンタルズと強いテクニカル要因により、ハイールド債は今年も回復を続けられるとの確度を高めています。



ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド金融商品取引業者 関東

財務局長（金商）第 1029 号

一般社団法人 日本投資顧問業協会会員、一般社団法人 投資信託協会会員、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会会員

■手数料等

当社の提供する投資一任業に関してご負担いただく主な手数料や費用等は以下になります。手数料・費用等はお客様の特性、委託された運用金額や運用戦略、運用状況、あるいは当社に係る業務負担等により、下記料率を上回る、又は下回る場合があります。最終的な料率・計算方法等は、お客様との個別協議により別途定めることとなります。

ロング・オンリー戦略 (年率、税抜き)					オルタナティブ戦略 (年率、税抜き)		
投資対象	投資適格債	Emerging 債	パブリック・ファイナンス	転換社債	運用戦略	トータル・リターン	絶対リターン
運用管理報酬 (上限)	0.40%	0.70%	0.70%	0.65%	運用管理報酬 (料率範囲)	0.50% - 1.10%	0.90% - 1.35%
					成功報酬 (料率範囲)	0.00% - 20.0%	0.00% - 20.0%

なお、当社との投資一任契約は、原則、運用戦略に応じた外国籍投資信託を投資対象とします。上記手数料には、お客様から直接当社にお支払いいただく投資顧問報酬、外国籍投資信託に対して投資した資産から控除される運用報酬が含まれます。その他、管理報酬その他信託事務に関する費用等が投資先外国籍投資信託において発生しますが、お客様に委託された運用金額や運用戦略ごとに、あるいは運用状況等により変動いたしますので、その料率ならびに上限を表示することができません。手数料や費用等について詳しくは、弊社担当者にお問い合わせいただくか、契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

■投資一任契約に関するリスク

投資一任契約に基づく契約資産の運用は、原則、戦略に応じた外国籍投資信託を通じて、実質的に海外の公社債、株式等の有価証券や通貨などの価格変動性のある資産に投資を行います。これら有価証券等には主に以下のリスクがあり、株式相場、金利、為替等の変動による価格変動、及び有価証券の発行会社の財務状況の悪化等による価格の下落により、外国籍投資信託等の基準価額が下落し、損失を被ることがあります。従って契約資産は保証されるものではなく、お客様の投資された元本を割り込むことがあります。また、デリバティブ取引等が用いられる場合においては、上記の価格変動等により、元本超過損が生じる可能性があります。運用による損益は全てお客様に帰属いたします。

価格変動リスク：有価証券の価格変動に伴って損失が発生するリスクが替変動

リスク：外国為替相場の変動に伴って損失が発生するリスク

信用リスク：発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により損失が発生するリスク

流動性リスク：市場の混乱等により取引ができず、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失が発生するリスク

カントリーリスク：投資対象国／地域の政治・経済、投資規制、通貨規制等の変化により損失が発生するリスク

なお、契約資産が持つリスクは上記に限定されるものではありませんのでご注意ください。リスクに関する詳細につきましては契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、別途記載のない限り資料作成時点のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社の書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途契約締結前交付書面等をお渡しますので、当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

以上